

## 2022年春期 特別支援教育支援員（学習支援員）養成講座の内容（予定）

\*印は公開講座になります

回、月日	タイトル	時間	講師	内容
(1) 2/6(日)	オリエンテーション	10:00 ～ 12:00	子ども支援室 カシオペア	コースの進め方、その他事務手続き 受講生自己紹介
	場所：ウィル あいち 3 階 会議室 7	* 特別支援教育支援員の実際	13:30 ～ 15:30	ディスレクシア協会 吉田やすえ 志水理子 梶田徳子
(2) 2/11(金祝)	* 発達障害とは	10:00 ～ 12:00	心理療育研究所 トマニ教室 繁昌成明	30年にわたる豊かな経験をふまえて、LD、ADHD、自閉スペクトラム症の診断基準その変化と、発達障害のある人の理解と対応のポイントを学びます。
	場所：ウィル あいち3階 会議室 5	* LD 疑似体験	13:30 ～ 15:30	ディスレクシア協会名古屋
(3) 2/13(日)	* 行動療法の基礎と実際	10:00 ～ 12:00	中京大学教授 坂井 誠	応用行動分析を中心に、発達障害児への支援につながる行動療法の基礎を学びます。行動の理解、課題分析に基づく、具体的な支援法について話していただきます。
	場所：ウィル あいち 3 階 会議室 4	教室の場面でのロールプレイ	13:30 ～ 15:30	子ども支援室カシオペア 中久木俊之 ディスレクシア協会 吉田やすえ
(4) 2/23(水祝)	* 感覚統合と作業療法	10:00 ～ 12:00	名古屋リハビリテーションセンター 東部地域療育センター 作業療法士 水科順子	発達性運動協調障害など、発達に遅れのある子の行動や運動を理解し、改善していくために、感覚統合(感覚情報処理)の理論と作業療法について学びます。
	場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	* 心理検査でわかること・検査結果の支援への活かし方	13:30 ～ 15:30	桑名発達臨床研究室 小笠原昭彦
(5) 2/27(日)	* 自閉スペクトラム症の多様な状態像の理解と支援	10:00 ～ 12:00	プリズムベルクリニック院長 早川星朗	自閉スペクトラム症の子は、知的理解のレベル、ADHD の併存、こだわる内容の違いなど多様な状態像を示します。アセスメントし、本人の困難さを尊重して支援される早川星朗医師に、どう理解し、どのように支援したらいいか学びます。
	場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	* 子どもの人権と発達障害&早期療育「サンライズプログラム」	13:30 ～ 15:30	弁護士 岩城正光 Team Lenny 代表 ドーマン朋子
(6) 3/13(日)	* 学校現場におけるABA	10:00 ～ 12:00	心理学博士、国際認定行動分析士 竹島浩司	ABA（応用行動分析）の実際の紹介から、学校、家庭、療育で有効に使える支援方法と問題解決への分析方法を学び、学校で何ができるか考えます。
	場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	支援ツール体験ワークショップ	13:30 ～ 15:30	子ども支援室カシオペア 中久木俊之
(7) 3/19(土)	* 発達に伴う視覚認知の問題への対応	10:00 ～ 12:00	視覚学習支援センター代表 加藤元嗣	神経生理学から見た発達障がい児の視覚認知の発達、視覚発達検査、眼球運動、視覚と学習の関係、効果的なサポート方法など、元キクチ眼鏡専門学校教授で、視覚学習支援センター代表の加藤元嗣先生にわかりやすく話していただきます。
	場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	まとめ・終了式	13:30 ～ 15:30	子ども支援室カシオペア・ディスレクシア協会名古屋